

あなたの肝臓 大丈夫？

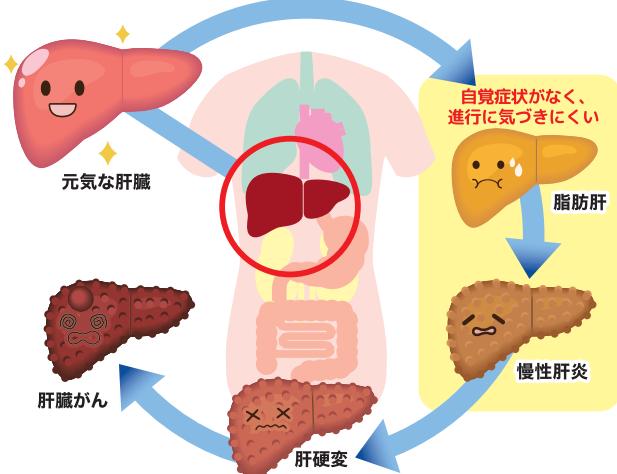
総合健診センターでは

ご受診者様へ超音波検査において脂肪肝と診断された方に、肝線維化指標であるFIB-4 index【肝硬変、肝がんに結びつく肝線維化（肝細胞が脂肪に押しつぶされて硬くなること）の進行度】を算定し、

早期に肝臓（線維化の度合いを確認）へのアプローチを行うサービスを行っております。

*腹部超音波・肝機能検査・貧血検査(血小板検査含)の方への提供となります

脂肪肝とは…



肝臓に脂肪が多くたまつた状態が脂肪肝です。脂肪肝には、お酒を飲みすぎた人がなるアルコール性の脂肪肝と、お酒をあまり飲んでいないのに肝臓に脂肪がたまってしまう非アルコール性の脂肪肝があります。アルコール性のみならず、非アルコール性の脂肪肝の人でも慢性肝炎から肝硬変へと進行してしまうことがあります。このように非アルコール性の脂肪肝から肝硬変に進行する患者の多くは、肥満、糖尿病、脂肪異常症、高血圧を伴っていて、メタボリックシンドロームの肝臓病と考えられています。

早期発見が
大切！

肝臓はよく沈黙の臓器といわれているように、多少の負担がかかってもすぐには症状が現れません。そしてかなり病気が進行し肝硬変になっていてもほとんど症状がないことが多いので、自覚症状だけで単なる脂肪肝と肝線維化の進行した脂肪肝を区別することはできません。肝臓に脂肪がたまっている状態である脂肪肝を判別する最も簡単な方法として、腹部超音波検査(腹部エコー検査)を実施し、年齢と肝機能のASTとALT、血小板で計算される数値(FIB-4インデックス)を用いて、推定します。

FIB-4 index 基準値

参照:日本消化器病ガイドライン

低 値 1.3以下

肝疾患による線維化の進行リスクは低い。
経過観察。

中間値 1.3～
2.67

線維化が進行している可能性あり。
念のため詳しい検査を推奨。

高 値 2.67以上

4～8割が肝硬変、または肝硬変に近い状態まで
線維化が進行している可能性あり。要精密検査。

定期的に肝機能の数値を検査し、医師と相談しながら、あなたにあった治療をおこないましょう



公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構

総合健診センター

お問合せ先 | (平日 8:30～17:00)

☎082-254-7160